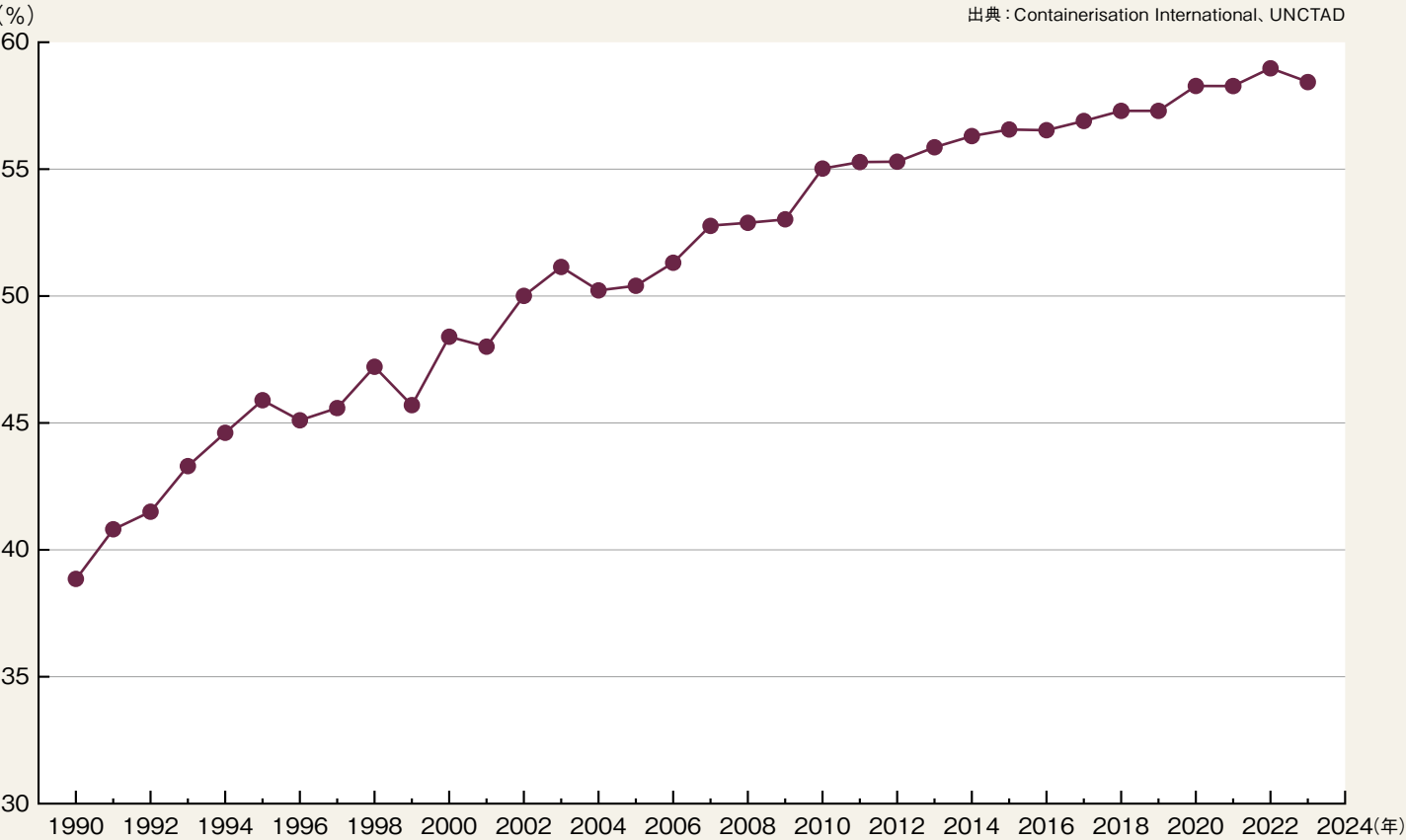


1 アジア各国の世界に占めるコンテナ取扱量のシェア

アジア各国の世界に占めるコンテナ取扱量(TEU)のシェアは1990年には4割を切っていたが、その後拡大し続け、2023年には58.5%となった。



(注) ①中国、シンガポール、香港、日本、韓国、マレーシア、台湾、インド、インドネシア、タイ、ベトナム、フィリピン、スリランカ、パキスタン、バングラディシュ、ミャンマー、カンボジアのデータ。
②取扱量は推定値。

2 コンテナ取扱量の上位を占めるアジアの港湾

中国を中心にアジア諸国発着のコンテナ貨物が増加したため、世界のコンテナ取扱量上位10港のうち、9港がアジアの港湾であり、そのうち7港を中国の港湾が占めている。

出典：Lloyd's List One Hundred Ports 2024、Containerisation International

港 名(国名)	取扱量の順位									2023年の 取扱量 (千TEU)
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	
上海(中国)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	49,158
シンガポール(シンガポール)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	39,010
寧波(中国)	4	4	4	3	3	3	3	3	3	35,301
深圳(中国)	3	3	3	4	4	4	4	4	4	29,880
青島(中国)	8	8	8	8	7	6	6	5	5	28,770
広州(中国)	7	7	7	5	5	5	5	6	6	25,414
釜山(韓国)	6	5	6	6	6	7	7	7	7	23,036
天津(中国)	10	10	10	9	9	8	8	8	8	22,187
ドバイ(アラブ首長国連邦)	9	9	9	10	11	11	11	11	9	14,472
香港(中国)	5	6	5	7	8	9	9	9	10	14,401